



寺院名物シリーズ⑩ 明光上人と指書のお名号 神門組 光林寺

三瓶山の北麓に、「指書きの名号石」と言われる石碑があります。

建保三年（西暦一二二五年）、親鸞聖人の高弟と言われている明光上人めいこうじょうにんが三瓶の原をお通りの時、毎夜怪物が出没し、人畜に害を及ぼすため、張番をしている村人に会われました。上人は「畜生の所為と、我、害を除かんと。この地を去る十町余にして大石あり。これを持ち来れ。」とおっしゃり、村人が運んだ大石の石面に指頭で「南無阿弥陀仏」と書かれました。その後、畜生の害はなくなったと言われております。

この折、山口の郷に一字を建立されたのが光林寺でございます。

山陰

編集 山陰教区基幹運動推進委員会
 発行 山陰教区教務所
 〒900-0001 松江市大正町四三ノ一
 本願寺山陰教堂
 TEL 〇八五二 四七四七
 FAX 〇八五二 〇八三五一
 発行者 金山 山往生

「二〇一〇年度 第一回中央基推」報告

山陰教区基幹運動推進委員会 副会長 澤田 隆之

いよいよ親鸞聖人七五〇回大遠忌法要を明年に控え、お待受けの態勢は着々と整備されています。

教団は三〇〇回大遠忌より五〇年毎の遠忌を発展のステップとして法要を勤修して来ました。

今回は、変革と混迷の社会に対して、「安穩」をテーマに掲げ、「新たな始まり」をコンセプトに長期推進計画の推進を図るとともに、先の宗制改正に向けた議論を深めてゆきながら、経費の節減と宗門運営の効率化に取り組み、宗門の長期低落傾向からの脱却を目指したいとの基幹運動推進を部長（総長）による宗門方針を受けて、二〇一〇（平成二十二年）年度第一回中央基幹運動推進委員会（六月十日～十一日）が開催されました。

第一日目、小林義教中央基推相談員より「運動推進の現況と次期計画の策定」について報告があり、「基本方針」に基づく男女共同参画、門信徒と僧侶の課題の共有に関して、全体として趣旨の理解は出来つつあるものの、現況はまだまだの感があり、具体的な取り組みに更なる努力と工夫が必要です。

一方御同朋の願いに応える教学に関

しては同朋運動推進僧侶研修会等を通して取り組みが進められていますが、参加者の固定化と共に、宗報、サットヴァ等で報告のとおり、未だ差別や偏見は存在し、北海道・兵庫教区等の事件もその延長線にあります。次期計画に向けて、この六ヶ年の基本計画を点検検証し、新たな人材の育成と更なる取り組みが必要との見解が示されました。

その後協議会が持たれ、差別問題・過疎問題・組画問題等の議論がなされました。

第二日目は建議がなされ、長野教区から「千鳥ヶ淵法要と類聚について」、高岡教区から「宗法改正について」、滋賀教区から「差別法名・過去帳調査について」、熊本教区から「ハンセン病療養新入退所者の法要参拝について」、以上四件について協議がなされ、いずれも原案どおり本部へ回付されることとなりました。

次回に向けて、私たち山陰教区も議題を議論し、是非建議提出をいたしましたこととの思いを強くしたことであります。

次回に向けて、私たち山陰教区も議題を議論し、是非建議提出をいたしましたこととの思いを強くしたことであります。

次回に向けて、私たち山陰教区も議題を議論し、是非建議提出をいたしましたこととの思いを強くしたことであります。

次回に向けて、私たち山陰教区も議題を議論し、是非建議提出をいたしましたこととの思いを強くしたことであります。

次回に向けて、私たち山陰教区も議題を議論し、是非建議提出をいたしましたこととの思いを強くしたことであります。

次回に向けて、私たち山陰教区も議題を議論し、是非建議提出をいたしましたこととの思いを強くしたことであります。

門徒推進員連絡協議会

連続「基幹運動推進研修会」が

第五回を終了しました

去る三月十四日(日)、松江組明宗寺を会場に山陰教区門徒推進員連絡協議会「基幹運動推進研修会」が開催されました。僧侶の参加者一名を加え、総勢一二六名のご参加でした。

現在山陰教区には五五七名の門徒推進員が誕生し、四五四名が現役で活躍されています。親鸞聖人七五〇回大遠忌法要を明年度に控えている

昨今ですが、この大遠忌をめざして平成十七年一月に発布された『親鸞聖人七五〇回大遠忌についての消息』に学ぶことを目的に、ご講師を教区連研専門委員の北島清秀師にお願いして「基幹運動研修会」を連続五回開催することを計画してスタートしたのですが、いよいよ本年が五回計画の最終年度でした。研修会では、『ご消息』を五段に

分けて、一段一段、丁寧な説明を受け講義を拝聴しました。また、新たに制定された『浄土真宗の教章』を交えて、特に「自他ともに心豊かに生きる」ということを主眼にしての研修会を終えることができました。一方、門徒推進員による話し合い法座、パネル討論会は、毎回毎回、熱心な意見発表あり、意見交換ありで、会員同士の悩みに共感し課題を共有することのできた、実のある研修となりました。大遠忌を一つの節目とし、更なる門徒推進員の皆様のご活躍に期待するところです。

「そば打ち体験」
教区若寺婦研修会で、

平成二十二年三月十五日(月)、大家組願林寺にて若寺婦研修会が開催されました。研修会のご講師は大家組西臨寺住職の荒本由未先生で、五十三名の参加がありました。

今回は開会行事の後、さっそく庫裡に全員移動して、地元のおそば打ちの指導の方の説明を聞きながら、それぞれにそば打ちを体験いたしました。出来上がったおそばで昼食をいただく折には、笑顔のこぼれる懇

親深まるそば打ち体験となりました。午後からはご講義をいただきました。講題は「お寺に住まわせたいて」。それぞれ坊守として住職として、寺族としてお寺に住まわせたいて、どのようないでか。仏のお取次ぎをさせていただくか。自らを振り返り、思いめぐらす大切な研修となりました。



平成21年度ともしび法座開座報告

開催組	開催寺院	法座名	開座日	開始時間	出講講師
1 松江	福萬寺	永代経法要	平成21年 5月23日(土)	10:00~	一席 吉川 恭
2 々	誓願寺	永代経法要	◇ 5月23日(土)	13:00~	一席 々
3 々	蓮生寺	永代経法要	◇ 5月24日(日)	10:00~	一席 々
4 々	願誓寺	永代経法要	◇ 5月24日(日)	13:00~	一席 々
5 邑智西	浄蓮寺	永代経法要	◇ 5月31日(日)	14:00~	一席 今野仁千六
6 江津	専応寺	報恩講	◇ 11月2日(月)	13:30~	一席 菅原 昭生
7 佐波	大光寺	報恩講	◇ 11月7日(土)	13:00~	一席 毛利 聡真
8 邑智西	浄蓮寺	報恩講	◇ 11月23日(月)	13:00~	一席 的場 利香
9 温泉津	浄林寺	報恩講	◇ 12月1日(火)	13:00~	一席 藤澤 行治
10 温泉津	金剛寺	報恩講	◇ 12月4日(金)	13:00~	一席 小原 静也
11 鹿足	了徳寺	御正忌報恩講	平成22年 1月10日(日)	9:30~	13:30~ 小野 隆志
12 仁摩	浄蓮寺	御正忌報恩講	◇ 1月17日(日)	13:30~	一席 中村 英晴
13 邑智東	品龍寺	御正忌報恩講	◇ 1月14日(木)	13:30~	一席 小笠原義宣
14 々	明照寺	御正忌報恩講	◇ 1月15日(金)	13:30~	一席 小笠原義宣
15 々	光西寺	御正忌報恩講	◇ 1月16日(土)	13:30~	一席 小笠原義宣

伝統ある京佛具を後世に伝えたい

浄土真宗本願寺派仏具専門店
寺院用 在家用 仏壇 仏具 記念品

株式会社
古田た佛具製作所

営業時間/午前9時より午後5時30分 定休日/日・祝日

〒600-8227 京都市下京区七条堀川上ル菱屋町(西本願寺前)
TEL(075)343-2341 FAX(075)343-0836
http://www.furuta-butugu.jp

「少年連盟四十周年記念大会」

山陰教区少年連盟理事長

岡本 広樹 (市山組長玄寺)

去る四月一日、出雲組成福寺様を会所として「ほとけの子どもの集い・少年連盟結成四十周年記念大会」が開催されました。大会当日はスタッフの皆様を含め約百七十名の参加を頂き、子どもたちと共に尊いご法縁を賜りました。また単位登録三十年以上の本山表彰も行われ、永きにわたり少年教化活動を継承されてこられたその営みにお念仏申させていただいたこととであります。

本堂では人形劇、アフリカンダンス、境内では竹うまなどの昔遊びを大人も子どもも一緒に楽しんで、最後はご法話を聴聞し、阿弥陀如来のお慈悲の中、ご縁を結ばせて頂きました。時間にして三時間のプログラムですが、約一年にわたって会議を重ねてまいりました。その中で、この大会が失敗もなく無事に終わったことより、一人一人が一生懸命、考え、悩み、何が出来るであろうかと共に歩んできた一つ一つ

の中に大切なものがあるということとを、あらためて気付かされたこととあります。事業を消化していくのではなく、すべてが私に向けてられたご法縁であることを今後大切になりたいと思います。そして、仏の子どもを育てると言いますが、私自身が仏の子どもとして、如来さまに育てられ続けていく尊さを忘れずに歩んでまいりたいと思えます。

われわれ大人の一つ一つの言葉や思いが、そのまま子どもたちの生き方につながっていきます。目の前にある損か得だけを考えるならば、次代は大変空しいものとなっていくことではありません。自分だけのことを考えていくことが、実に恐ろしいことであることを、先に生まれたものとして、もっと見つめていかねばなりません。「今はいいけどこれから先の代は大変だなあ」と言っていくことは、今までつないできてくださった方々に対して、誠に申し訳ない



ことであります。私がお念仏をよるご身にさせて頂いたということとは、私より先によるこんでおられた方のお導きであることを、これからも訪ねさせて頂きたいと思えます。

一人では生きていけないのに、一人で生きていく人が益々増えていく寂しい時代。「一人にはしない」と喚び続け、願ひ続けてくださる真実まことのはたらきを、どんな時を迎えようとも、仏の子どもとして伝えていきたいと思えます。

御本山 **近** 用達

株式会社 **川勝法衣店**

フリーダイヤル 0120-075-055

(600-8344) 京都市下京区花屋町通油小路東入

電話 (075) 371-0367 (代)

FAX (075) 371-5088

御本山御用達 開明社員

井筒法衣店

代表取締役社長 幾田 潤

(〒600-8503) 京都市下京区堀川通新花屋町角(西本願寺前)

フリーダイヤル TEL 0120-075-720

フリーダイヤル FAX 0120-075-490

幕章袋式
・門徒衣
・珠・帷
旗念・帷
裳袴袍帳
製製切布
條條衣・敷
七五色黒打

平成二十二年度仏教婦人会 総連盟総会に出席させて頂いて

山陰教区仏婦連盟委員長 田中恵子 (石東組松林寺)



去る四月十九日、ご修復を終えた御影堂において、今年度の仏教婦人会総連盟

強く思ったものです。開会式においては、総裁様のお焼香の後の音楽礼拝もお役が当り、初めての良い経験をする事が出来ました。続いて、「歎異のころ」とのご講題で、清岡隆文先生(龍谷大学教授)のご法話があり、その後総会が開催されました。

各委員会報告、活動方針、事業計画、予算説明も無事終えると、阿弥陀堂に移動し、讃歌指導を受け十三時、閉会式となりました。

昼食後、希望者は、書院、飛雲閣拝観もされたようですが、私達評議員は、来年開かれる世界大会会場である、パルスプラザを見学に行つて参りました。

総会が開催されました。前日の午後六時から、ホテルグランヴィア京都を会場として、総裁様ご臨席の夕食懇親会が開宴しました。山陰教区からは十一名が参加し、全国の三百四十八名の方々と共に総裁様をお囲みして、親睦を図る事が出来、素晴らしいひとときを過ごすことが出来ました。

そして、翌日は天候にも恵まれ、六百九十七名の参加者での総会が開催されました。

御影堂での総会は、五十年ぶりだとお聞きしました。

私は、ダーナ委員に所属していますので、開始前には、白州、御影堂広縁で、ダーナ献金活動をさせて頂きました。教区からは、二十二名の参加があり、お顔が見えるとても嬉しく、心

とても広く大きな会場に身を置き、まだ経験した事のない世界大会に心をはせるひとときでした。

これら、さまざまな体験をさせて頂いた貴重な二日間でした。

尊いお役を頂けばこそその御縁でございました。

これからの一年、山陰教区の仏婦の皆様と共に、実りのある活動をし、私自身も、日々のお念仏生活を大切に、成長していきたいものと思わせて頂きました。

ありがとうございました。

山陰教区布教団

総会・研修会開催

五月十三日、山陰教区布教団総会研修会が、本願寺山陰教堂にて開催されました。

午前中の研修会では、安芸教区布教団副団長・桑原浄昭師より、「布教のあり方を再認識する」親鸞聖人七百五十回大遠忌についてのご教示をいただいて」というテーマでご講義をいただきました。

午後からの総会では、昨年度事業・会計報告、本年度事業計画・会計予算について協議されました。今年度の「地区別布教大会」は石西ブロック担当により、来年二月二十四日～二十五日に開催することとなりました。

また、明年度の第四連区布教使研修会を山陰教区担当で開催することとなりました。期日は平成二十四年三月五日～六日を予定しています。詳細等は決定次第、団員のみなさまにご案内いたします。



お仏壇・仏具は やっぱり京都・・・



SINCE 1830

心に残るご法要を...
Support 750
MADE IN KYOTO

伝統工芸 京仏壇・京仏具

(株) 若林

www.wakabayashi.co.jp

京都本社 / 京都市下京区七条通新町東入

☎(075)371-3131 (代)年中無休〒600-8218

フリーダイヤル ☎0120-37-8585 (各店共通)

東京店・築地店・札幌店・仙台店

近江草津店・福岡(営)・新潟(営)

E-mail info@wakabayashi.co.jp

昭和33年10月
たった1台のタイプライターから
当社の歴史は始まりました



あなたの要望を形に!

商業印刷

印刷の原点はここにある

出版印刷

活用方法は無限大

マルチメディア制作

出力サービスもおまかせ

オンデマンド印刷

イベント用ポスターなど



株式会社谷口印刷

TANIGUCHI PRINTING CORPORATION

〒690-0133 松江市東長江町902-59 朝日ヒルズ

TEL(0852)36-5888 FAX(0852)36-5889

全国門徒総代会

「親鸞聖人七五〇回大遠忌法要」

お待ち受け大会が実施される

五月十二日(水)、本願寺御影堂にて『全国門徒総代会「親鸞聖人七五〇回大遠忌法要お待ち受け大会」が開催されました。山陰教区からは八名のご参加をいただき、「お待ち受け大会」のご勝縁に遇うことができました。

式典にはご門主のご臨席をいただき、「親鸞聖人七五〇回大遠忌に向けてのお言葉」を頂戴いたしました。そして、全国門徒総代会会長の挨拶の後、各連区の代表者による意見発表があり、現在のお寺を取り巻く環境について、門徒総代としての取り組みや思いの数々が発表されました。

また、ご法話を教学伝道研究センター・満井秀城所長より頂戴しました。満井先生は、「この度の尊いご縁を慶ぶとともに、明年またここでお会いし、お念仏を称えさせていただくことを約束し、多くの方々にご参拝を呼びかけていただきたいと思えます」と語られました。

そうして、夕刻には「ウエスティン都ホテル」に会場を移し、ご門主ご臨席のもと、レセプションが開催



されました。二胡の演奏も飛び出し、総勢約二千人という大盛況の中で、大賑わいの祝宴となりました。ご参加いただいたお一人おひとり、この大会を機縁として、来るべき大遠忌法要に向けて、思いも新たに集いであつたように思います。

連盟結成を受けて

山陰教区仏教壮年会連盟総会、成る

去る六月十五日(土)、本願寺山陰教堂を会場として山陰教区仏教壮年会連盟総会・研修会が開催されました。出席者は百二十一名、教堂を借りて開催した総会としては最大規模のものとなりました。本堂の板戸をはずしてもまだ止まぬ熱気の中、講師は山陰教区教務所長・金山往生、テーマを「大遠忌を前にして」とし、大遠忌を明年に控え、各寺院、各組、そして本山と、多くの行事が営まれる中に於いて、仏教活動に対してどう取り組んでゆくかについてお話を頂きました。

一方、今年度の総会に当たっての教区仏教の活動方針としては、引き続き教区登録率五〇%に向けて活動してゆく予定です。仏教拡大専門委員会の報告によりますと、単位仏教の結成率としては相当の比重を占めておりながら、教区登録率が低いというところが判明いたしました。「単位仏教を結成していただきながら、教区登録率が低いのは何故か?」。このあたりの改善を目指して、教区基推委と連携して、各組執行部より「各組代表者」を選出しいただい



てご協議いただき、これらの問題の解消に向けて努めてゆく所存です。また、仏教壮年会連盟では三年を一サイクルとして、本山研修の年、中・四国ブロック研修の年、各教区研修の年として研修を行っておりませんが、本年は中・四国ブロック研修の年に当たります。予定としては備後教区の担当、期日は十一月十三日・十四日です。今回は三年ぶりの中・四国ブロック研修会となりますので、皆様の積極的なご参加をお願い致します。

「中四国仏婦大会に参加して」

山陰教区仏婦連盟副委員長

田中春美 (仁摩組満徳寺)

五月二十五日、私達石東ブロックと川本組は、前日から道後温泉に、三十五名で宿泊して大会に参加させて頂きました。

平山郁夫美術館と松山城と楽しいレクレーションも加え参加者全員の気分も盛り上がり、当日を迎えました。会場までバスで行き、ひめぎんホールの前で元気に記念撮影をしました。

会場の中は、二八〇〇人の笑顔と熱気でムンムンして、各教区が次々に紹介され、それはそれは、印象的なオリエンテーションでした。

仏婦綱領の後、いよいよ総裁様のご挨拶がありました。私の席は一番前の中央でしたので、二メートル先に総裁様がニッコリほほえまれて、気品とやさしさをまじえたそのお言葉はとっても感動的でした。

次に大会会長の松井敬子さんのお人柄がにじみ出た笑顔を見るだけで、私も今出来ることを全力でがんばろうと強く思わせられたご挨拶でした。

講演が始まり、今井先生は、恵信尼様が貴族の女性として生まれ生き

てこられた時代背景、その中で浄土真宗のみ教えをいただき、お念仏の日々を過ごされ、一心に親鸞聖人を愛し尊敬し一生懸命生きてこられたお話をされました。

また今村文美さんは、私も以前に前進座の「法然と親鸞」を見せていただきましたが、お話もあてやかな日本舞踊もすてきで、合掌・礼拝の立ち姿の美しさにうっとりしました。やっぱり女優さんだとつくづく感心しました。

アトラクションは、高知・香川徳島の会員のそれぞれお国自慢の踊でした。楽しそうで、思わず私も壇上に上がり皆といっしょに踊ってしまいました。本当に楽しかったです。これが友の輪が広がるという事かと思えました。

とっても実り多い有意義な一泊二日の出会いでした。この感動とお念仏の喜びを胸一杯感じたことを一人でも多くの方々にどのようにお伝えしたらよいか考えながら帰路に着きました。

「仏教婦人幹部研修会に参加して」

山陰教区仏婦連盟副委員長

安部恵子 (神門組乗光寺)

六月七日〜九日 二泊三日の日程で鹿兒島別院を会場に行われた「二〇一〇(平成二十二年度) 仏教婦人幹部研修会・教区仏婦幹部同朋運動研修会」に山陰教区より三名参加させて頂きました。

全国から集まった参加者九十一名、開会式に続いて大八木廣澄先生のご講話がありました。講題は「鹿兒島における浄土真宗の歴史と現状及びかくれ念仏について」。三百年の間過酷な弾圧にも屈せず命がけで守りぬいた真宗信者の固い信念と時代背景を、先生は熱く時に淡々と語られました。

休憩をはさみ嘉屋英嗣先生のご講義を聴聞させていただきました。講題は「非戦平和について」「男女共同参画について」

「私達は今までに生まれ育った環境、時代、教育などの違いにより、いつの間にかそれぞれ形成されたものを持っている。頭では分かっていてもその観念を修成することは困難だが、そのことをしっかり自覚していなければならぬ。」と話され、同朋運動の難しさを思いました。

翌日は花尾かくれ念仏洞と知覧特

攻平和会館の現地学習に出発。かくれ念仏洞の駐車場には東俣の仏婦の皆様が手作りのお菓子、漬物であたたかく迎えて下さり、その笑顔に三百年余の弾圧に耐え、このさつまの地に脈々と伝えられてきたお念仏のふるさとを見つけたように思いました。

夕食後の話し合い法座は花岡静人先生の問題提起「いちばん心に残って家に帰っていちばんに伝えたいこと」で始まりました。皆んな現地学習の印象が強く、どんな弾圧にも屈せず守った信仰の根っこは何だろう。特攻に散ったあの若人達の笑顔とその想いは？男女お互い認めあつた上での共同参画であるべき等々、真剣に意見が飛び交うあつという間の二時間でした。

最終日は班別発表をまとめ、皆んなの熱い想いは十七ページの冊子「班別話し合い法座まとめ」にぎつしり詰まっています。そして閉会式。再会を約束し冊子を胸に帰途につきました。

この度の研修で学ばせていただきましたご縁、ほんとうにありがとうございました。

基幹運動推進合同研修会 組画の再編成へ向けて

去る五月十九日(水)、本願寺山陰教堂において小林義教中央相談員を招聘して、組長、組相談員、教区基推委員など総勢六二名が一堂に会して「基幹運動推進合同研修会」が開催されました。

小林相談員からは、後期基幹運動総合基本計画について概要の説明があり、合わせて門徒推進員の中央教修における年齢制限の廃止、あるいは宗門基本法規改正、さらには次期基幹運動総合基本計画についての動きなど、新たな取り組みについて報告がありました。

また、各ブロックに分かれての協議会では「基幹運動推進ブロック連絡会議」についての日程調整をはじめ、昨年度の各組活動報告書により、課題の共有や本年度の活動の方向性などについて協議いただきました。そして全体会ではこれらの意見を踏まえた教区基幹運動計画について検討、協議をいただきました。組画の再編成や教堂教化センター増改築

事業の推進と、山陰教区として大きな課題を抱える中で、基幹運動推進のため建設的なご意見をいただくことができました。



総会・研修会を終えて

山陰教区門徒推進員連絡協議会副会長

田中圓而 (大田組常見寺門徒)

平成二十二年五月三十日、二〇一〇年度山陰教区門徒推進員連絡協議会総会・研修会を、大田組常見寺にて百十数名の参加を得て、盛大に開催することが出来ました。

研修会では、山陰教区連研専門委員の窪田英俊先生に「本願力」と題してご法話をいただきました。「本願力」は、今を生きる私たちにとって大切な教えであり、皆さん、大変感動されたように感じました。

私は、『高僧和讃』の「本願力にあひぬればむなしくすぐるひとぞなき 功德の宝海みちみちて 煩惱の濁水へだてなし」と、大切に味わっています。『御本典』の「帰命は本願招喚の勅命なり。発願回向といふは、如来すでに発願して衆生の行を回施したまふの心なり」のご文と重なり合い、有り難く聴かせていただきました。

午後は、話し合い法座で、テーマは「門徒推進委員の自覚」でした。私は、進行させていただきましたが、参加者の皆さんには、今日私たちが抱えている具体的な苦悩を語り合い

聞き合うように、問いかけながら進めました。その結果、問いを共感し、そして共有し、み教えに問い聞き語りにより、「いのち」のつながりを感じる事が出来ました。

私は、御同朋の皆様と共に現代社会に向き合い、み教えに問い聞き、懺悔の心を忘れないようにすること、真実のみ教えが次世代へ伝わることを願い、共に歩みたいと思います。



仏壇・寺院用品・製造・修復

報恩感謝

ぶつだんの

内田裏造商店

木次 ☎(0854)42-0266 下熊谷 ☎(0854)42-3711
出雲 ☎(0853)21-3253



Your Global Lifestyle Partner
株式会社JTB中国四国
松江支店

住所：〒690-0003
島根県松江市朝日町480-8 松江SKYビル1F
TEL：0852-23-2020(国内旅行) / 23-2024(海外旅行)
0852-23-6720(団体旅行)
FAX：0852-23-2023

キッズサンガ・サポーター研修会

「できたところ」と「できなところ」

六月四日(金)、本願寺山陰教室

において、「できたところ」と「できなところ」をテーマとして掲げ、キッズサンガ・サポーター研修会が開催されました。各組より合計四十三名の参加をいただきましたが、あいにく、組内行事などと重なって三組から出席者が得られなかったことは、今後の課題です。

さて、キッズサンガ事業推進も本年で四年目を迎えました。本年は特に中央より「教区連絡協議会」実施要請を受けての開催となり、講師には中央キッズサンガ推進委員の大分教区・大原瑞雲さんと東京教区・南莊乗宏さんの派遣をいただきました。

これまで三年間には、それぞれの組や寺院でキッズサンガ事業への取り組みが行われてきたことです。お盆に帰省された子どもたちを迎えて、初めて行われたという報告も受けておりますが、今回は、これまで実施してきたキッズサンガ事業の推進状況を振り返り、サポーターとしての取り組み方につ

いて研修いたしました。

大原委員からは、ご出身の大分教区、大野組の取り組みとして、教区内の組を巡回して啓発活動がされていることや、大野組の全ヶ寺を上げて取り組んでおられる様子を。南莊委員からは、各教区を巡回された中から具体的な取り組みの様子などについてお話いただきました。

また、ブロック別に分かれて、昨年度の実施報告書をもとに、「できたところ」と「できなところ」について現状の把握をしながら、サポーターとして組内寺院の活動をどのように支援してゆくか協議されました。

アドバイザーやサポーターは、企画、計画の段階を支援(お手伝い)する立場であることを確認しましたが、直接ゲーム指導などに行いませんので、そのような指導者の育成や派遣に関する要望があったことは、キッズサンガ事業を推進する上での課題となりました。

キッズサンガ「全アドバイザー会同」に参加して

飯石北組 善徳寺 楠 縁 人

二〇一〇年六月二十九日、三〇日の両日、本山に於きまして同会が開催され全国のアドバイザー一二〇名が参加しました。

二〇一〇年六月二十九日、三〇日の両日、本山に於きまして同会が開催され全国のアドバイザー一二〇名が参加しました。

まずは松月中央委員より今までの運動の総括、そしてこれからの運動の在り方をオリエンテーションでお話を頂きました。理念の徹底がなされていなかった反省を基に①子供対象の集いをする。②平素の法務に子供と共に集える工夫をする。③日常生活の中での縁づくりをする。この三点がこれからの運動の展開のキーワードである、そして大遠忌法要後がむしろ本日の運動であるといった内容でした。その後上田紀行先生より「現代に求められる寺のあり方、僧侶の資質とは」という演題で講演がありました。先生の最初のお言葉が「未来はない」というところまできている。「今までのお寺ではダメ」からスタートしなければならぬと大変厳しいお言葉でありました。寺の経営の話しかししない僧侶、このやりにくい世の中に於

いて僧侶自身が被害者になっている。このように教えが自分自身の生き方に結びついていない者が説くお説教など聴きたくないと。最後のまとめで先生は、「あなた達の世代で何かを生み出していかなければならない。今までの固定概念を捨て新しい試みが必要である。当然僧侶としての魅力もなければならぬ。」とお話下さいました。私自身住職になってまだ三、四年の未熟な住職であります。違う意味でのプライドだけは高く、生み出すものはこの先も無いのかもしれないませんが、未来を担う子供達と過ごしていく過程の中で私自身の魅力といたったものが造りあげられていくのではないかと。そんな事を思わせていただいた二日間の研修でありました。「キッズサンガ」をご縁として今までのままではいけない自分に向き合わせていただきました。本日に研修会に参加させていただいたことを嬉しく思います。有難うございました。

宗祖讃仰作法研修会

僧侶・寺族、門信徒が一つになって

去る六月十九日は鳥取地区、翌二十日には出雲地区で「宗祖讃仰作法研修会」が開催されました。

「宗祖讃仰作法」は、この度の大遠忌をご縁に新しく制定された勤行ですが、正信偈と同じように大衆唱和できるように、僧侶や寺族、そして門信徒の皆さんが一堂に会しての研修会です。すでにご本山では昨年の大谷本廟の法要や御正忌報恩講で勤修になられておりますが、今春新たに「参拝用」(本願寺出版社刊、二一〇円)としての聖典も作成されました。

今回の「宗祖讃仰作法」の指導には本山・会役者の末政孝雲さんが、「音楽法要」の指導には担当指導員の廣濟兼壽さんがそれぞれ当られ、午前十時から午後四時までの長丁場ではありましたが、息の合ったお経声が堂内に響き渡る様子は圧巻でした。

まず、鳥取会場は伯耆組香宝寺に、会所のスタッフも加えて一一八名(内、僧侶が十名、寺族が四名、門信徒が一〇四名)が集まりました。各地区とも同様と思われませんが、組のお待ち受け法要や、寺

院毎に勤められる法要に向けて準備、練習などの取り組みが始められておりますが、鳥取会場も例外ではなく、最初の一声から大きな読経の声が堂内に響きました。寺院によってはコーラス部を設けておられて、その方々を中心に練習を重ねておられることを伺い、僧侶、寺族、そして門信徒の皆さんが一体になって取り組んでおられる様子に敬服しました。

また、出雲会場は、あいにく各寺院や地域の行事と日程が重なったところが多く、参加者は三十二名(内、僧侶三名、寺族三名、門信徒二十六名)と少数ではありましたが、小人数は小人数ながら個別指導もあり、充実した研修となりました。一ヶ寺から十八名の参加をいただくなど、研鑽に向けての意気込みが感じられ、ありがとうございました。

ややもすると、お経は僧侶が読むものと受け取られがちですが、この度制定になったこの「宗祖讃仰作法」は僧侶の方も初めて読誦する経典です。場合によっては、歌や音楽の得意な門信徒の方から、

僧侶の方がお経を習うということもあるかもしれないなど、僧侶と門信徒の方々が一つの課題に向けて一緒に取り組む新たな形が生まれる機縁となることを期待した次第です。

いよいよ明年に勤まる「親鸞聖人七五〇回大遠忌法要」では、この「宗祖讃仰作法」「音楽法要」が勤修されます。ご本山にお参りして「初めて聞いた」ということのないよう、各組、各寺院での取り組みをお願いいたします。

最後に、邑智地区、石見地区の研修会は別表「教区行事予定」に掲載しております。対象地区の方々へのご案内を年末に予定いたしておりますので、多くのご参加をいただきますよう紙面を借りてお願いいたします。



教区仏教婦人会連盟総会

平成二十二年五月十七日(月)、十八日(火)日の両日、教区仏教婦人会連盟総会が開催されました。

本年度は例年の東西二会所での開催となり、初日は西部で浜田組真光寺にて二百五十七名、二日目は東部で松江組明宗寺にて百七十二名の参加でした。

総会後の研修会のご講師は元仏教婦人会総連盟講師、仁摩組大雄寺の毛利壽恵子先生。講題には「念仏に生かされるよろこびを行動へ」とする総連盟スローガンから、そして副題に「つながろう、伝えよう」をいただきました。来年の宗祖親鸞聖人七百五十回大遠忌をお迎えにあたって、それぞれの組でお勤まりになるお待ち受け法要への参拝やさまざまな研修会への積極的参加を通して、ひとりひとりがつながりあい、ともにお法を伝えあつていくお心を、お示しいただききました。



2010 (平成22) 年度 山陰教区行事予定

部 門	行 事 名	期 日	会 場	講 師	参加者	
基 推 委 員 会	基幹運動推進委員会 (総会)	2010年3月26日	本願寺山陰教堂			
	合同研修会	5月19日	本願寺山陰教堂	小林義教		
	組相談員研修会	7月8日	本願寺山陰教堂	長倉伯博		
	仏社各組代表者会					
	基幹運動推進婦人研修会	7月9日	松江テルサ	長倉伯博		
	キッズサンガ・サポーター研修会	6月4日	本願寺山陰教堂	大原瑞雲、南莊乗宏		
	連研	連研のための研究会	10月4日	本願寺山陰教堂		
		連研履修者研修会				
	矯正	矯正教化連盟広島支部総会	5月17日	安芸教区		
		矯正教化連盟広島支部 (教誨師) 研修会	2月	安芸教区		
広 報 出 版	教区報「山陰」発刊 1000部 (117号、118号、119号)					
	ホームページ「山陰教区」 http://www.sankyoku.net					
	妙好人カレンダー発行 (20000部)					
ブ ロ ッ ク	5ブロック基推連絡会 (ブロック開催)					
	同期僧侶研修会 (組、ブロック開催)					
	門信徒会運動研修協議会 (組、ブロック開催)					
社 推 協	各施設カレンダー配布					
	連絡協議会					
	ビハハラ第4連区連絡協議会	2月28日～3月1日	安芸教区			
	ビハハラ活動第4連区集会 (本年、教区毎)					
	ビハハラ全国集会	本年度、なし				
	ビハハラ公開講座 (協議会)					
僧 侶	僧侶研修会	9月8日～9日	大田市民会館	東光爾英		
	勤式講習会 (僧侶研修会と併修)	9月8日～9日	大田市民会館	徳川真英		
	教学座談会 (僧侶研修会と併修)	9月8日～9日	大田市民会館			
門 推 協	総会・研修会	5月30日	大田組常見寺	窪田英俊		
	基幹運動研修会	3月13日	鳥取地区			
	第4連区門徒推進員研修協議会	9月25日～26日	安芸教区			
	門徒推進員の集い (本山)	本年度、なし				
	会報「ともしび」第12号発行、900部					
布 教 団	総会・研修会	5月13日		桑原浄昭		
	地区別布教大会	2011年2月24日～25日				
	青年布教使育成教区研修会					
	第4連区布教使研修会	8月23日～24日	備後教区			
	第4連区青年布教使研修会	10月20日～21日	山口教区			
	全国布教使大会	本年度、なし				
	寺院振興「ともしび法座」(10年目)					
総 代 会	総局巡回	7月20日	本願寺山陰教堂			
	安徳灯火リレー	10月1日	教区内、各地			
	総代研修会 (鳥取)					
	総代研修会 (出雲)					
	総代研修会 (石見)					
	全国総代会/連区研修会 (協議会)	5月12日～13日	本山			
仏 教 壮 年 会	総会・研修会	5月15日	本願寺山陰教堂			
	教区壮年の集い	22年度、休止				
	ブロック研修会 鳥取地区	8月1日	伯耆組本巖寺			
	出雲地区					
	石見地区	8月28日	川本町・悠色ふるさと会館			
	中・四国地区仏社会員研修会(3年に1回)	10月23日～24日	備後教区			
	単位会結成に向けた研修会		山口教区			
	会報「社創」発行					
仏 教 婦 人 会	教区仏婦連盟総会	5月17日・18日	浜田真光寺・松江明宗寺	毛利壽恵子		
	仏教若婦人研修会	7月24日	因幡組妙園寺	佐々木俊教		
	中・四国仏婦大会	5月25日	愛媛県民文化会館	今井雅晴、今村文美		
	寺族婦人研修会	9月10日	川本組法隆寺	徳川真英		
	研修旅行 (隔年)	本年度、なし				
	寺族若婦人研修会	2010年2月11日	三隅組西楽寺	川本義昭		
	会報「寺族婦人のひろば」発行					
青 少 年	総会・指導者研修会 (本年度、連区行事に合わせる)					
	仏の子どもの集い	H23年春休み				
	中・四国ブロック指導者研修会 (教区研修会併修)	7月1日～2日	松江・ホテル穴道湖	内田正祥		
	広報紙「はばたき」発行					
	まことの保育大学講座 (連区)	7月27日～28日	安芸教区			
	全国保育大会	6月17日～18日	富山教区			
	総会・理事会					
	教区まことの保育入門講座					
	全国真宗青年の集い	8月6日～7日	神戸別院、他			
	第57回中央研修会	11月13日～14日	本山			
	本山成入式					
	仏青ブロック研修会	11月6日～7日	安芸教区			
	教区寺族青年僧侶研修会					
	第34回全国寺族青年軟式野球大会	9月28日～29日	京都・城陽総合運動公園			
	中・四国地区寺族青年野球大会	6月30日	安芸教区			
勤 式	組勤式推進員連絡協議会	2011年2月上旬	本願寺山陰教堂			
	法務員・特別法務員研修会	7月30日	本願寺山陰教堂			
	宗祖讃仰作法研修会 (鳥取地区)	6月19日	伯耆組香宝寺	廣濟兼壽		
	(出雲地区)	6月20日	本願寺山陰教堂	末政孝雲		
	(邑智地区)	2011年2月26日	悠色ふるさと会館			
	(石見地区)	2011年2月27日	江津市総合市民センター			

世界遺産石見銀山遺跡のある大森町に西性寺はある。「人が多くなってお忙しいうでしよう。」と、よく言われるのだが、町は多くても、うちは・・・そうでもない。

年々減るお参りの人。住職と二人で「お参りの人で本堂がいっぱいになっただけだね。」と、考えていた頃、落語会の話をお願いした。

この落語法座にむけて、私には三つ叶えたいことがあった。一つ目は本堂を「一〇〇人御満座」にすること、二つ目は当日の天気が晴れること、三つ目は内陣を花菖蒲だけで飾ること、である。

一つ目の目標に向けて、まず臨時の世話方寄りを開催した。そこで、お参りの人を積極的に誘うことと、初めての人にも気軽に足を運んでもらえるように、供物料は一、〇〇〇円と決めた。次に、案内状もいつもの型通りのものではなく、お参りをして頂きたいという思いを込めたメッセージを添えた。また、ポスターを貼ったり声掛けをしたり、多くの人に伝える努力もした？つもりである。

二つ目は・・・努力のしようがない。ただテレビの天気予報を見るだけである。三つ目はご門徒さんから五十本の花菖蒲をいただくことが出来たので、お

帳 楽 憂

「落語法座」

大森組 西性寺坊守
龍 文子



陰様で願いは叶った。さて、落語法座当日。空は朝から晴れ渡り、仏旗が風になびいている中、たくさんの方が本堂へ向かって歩いてこられた。「一〇〇人御満座」達成である。

落語が始まると、本堂をうめつくしたお参りの方々の顔は笑いではじけていた。この光景を見て住職共々ホッと、有難いご仏縁に感謝の気持ちでいっぱいになった。

こうして私の三つの願いは叶ったのである。住職に「もう思い残すことないよ。」と、言うことと「じゃー明日お浄土に参らせてもらってもいいね。」「えーっ!?」私、もう少し仏様のお給仕をさせて頂く所存でございます。

寺族青年軟式野球大会 (中・四国ブロック)

山陰野球部、惜しくも準優勝!

副主将 益田組進徳寺 佐々木 白文

六月三十日(水)、旧広島市民球場を舞台に中・四国ブロック寺族青年野球大会が開催され、五教区六チームが参加しました。前日の二十九日には、広島市内のホテルでレセプションが開催され、大会関係者、選手たちが親睦を深めました。

大会当日は、天候にも恵まれ熱い戦いが繰り広げられました。

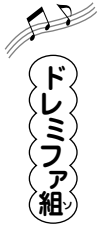
我が山陰教区野球部は初戦、山口教区伝道野球部と対戦しました。旧広島市民球場とはいえ、以前はプロがプレイしていた球場という独特な雰囲気や初戦ということもあり、チーム全体が少し緊張感に包まれていました。しかし、序盤その緊張を打ち消すかのように打線が繋がりました。順調に得点を重ね、投手も安定したピッチングで長州打線をねじ伏せ、山口教区に八―二と快勝しました。次の準決勝では、安芸教区Bチームと対戦しました。両チームの投手が好投し、白熱した投手戦となりました。

六月三十日(水)、旧広島市民球場では圧勝して決勝へこまを進めました。決勝では、優勝候補安芸教区Aチームとの戦いとなりました。三試合目ということもあり、疲れが出たのか自慢の打線も続かず惜しくも敗れ、準優勝という結果に終わりました。

大会を終え、他教区の親睦も深まり、準優勝で満足することなく、次に繋げる良い大会となりました。九月に開催される全国大会に向け選手一人ひとりが課題を持ち、練習を重ね、ひとつでも上を目指して一意専心してまいります。



結局――で試合は終了し、五人勝ち抜けのジャンケンで勝敗を決めることになりました。見事、ジャンケ



ビハラー浜田

浜田組相談員 渡辺 哲彦

「ビハラー浜田」は組の基幹運動推進部会の、部会の一部会として活動しています。

平成十二年に「ビハラー部会」として発足するまでは、社会福祉部会として活動をしていました。

発足後、市内の特別養護老人ホームで活動を開始しましたが、施設の考えと会員の考えの相違が顕著となり活動停止の状態になりました。そこで役員を一新して施設に活動の理解と協力をお願いをして何とか活動は再開できました。

この施設には現在も、毎月、組内のご住職が順番に法話を担当しています。

【会員】組内十一ヶ寺・百三名(内、活動会員四十三名) 活動に参加できなくても会費(一五〇〇円)を払って活動を支えてくださるようお願いをしています。

【訪問施設】五施設(特別養護老人ホーム二・老健施設・デイサービスセンター・小規模多機能型居宅介護施設)

新しい施設の开拓は組仏婦役員がそれぞれの地域の施設に直接訪問をお願いをされました。

【活動内容】法話会が中心ですが、地域のようなサークルをお誘いして、舞踊・大正琴・腹話術・太鼓・寸劇・等々を交えたプログラム編成をしています。今では地域の人々との連携の輪が広がっています。

【研修会】各種・各地の研修会に積極的に参加しています。年一回の特別研修会は、中央講師をお迎えして一五〇名位の参加者があります。また、年一回は訪問研修(五〇名位参加)を行っています。

【会の特色として】

①開始時と終了時の定型化

必ず「真宗々歌」で始まり、「恩徳讃」で終わる。

②訪問会員は制服を着用

会特製のエプロンを全員着用。会員と訪問者との区別ができるため、安心感を与えている。

③訪問日誌の採用

当日の参加会員、実施内容、感想などの訪問日誌に記入して、保管していただいている。

終わりに、今では活動もすっきり定着して、施設から喜ばれています。入・通所者の皆様も訪問日を心待ちにされ、お別れがづらい毎日です。

編集後記

過日、京都でコンビニに立ち寄ると、店内にテーブルとイスが置いてありました。それを見て思い出したのは、最近コンビニやスーパーで「居場所づくり」が行われているということでした。◆「無縁社会」なる言葉が生まれるほど都会では孤立する人が増えています。そのため店内にテーブルとイスを置いて、人とふれあう「居場所づくり」がすすめられているのです。「無縁社会」と「居場所」という二つの言葉は、今の時代を読み解くキーワードといってもよいかも知れません。◆それぐらい人間関係が希薄な社会になっているのですから深刻です。しかし考えてみれば、お寺はいつの時代でも仏さまのまなざしに包まれた「ぬくもりのある居場所」でした。お寺という「居場所」があることを、もっとアピールする必要があるそうです。

◆「開かれたお寺」がキャッチフレーズの宗門の取り組みも「居場所づくり」と同意趣で、それに取り組む活動体こそ教化団体ではないでしょうか。今、心して教化団体の意義を再確認しなければ、大遠忌法要の後、それこそ「社会と無縁」になりそうな気がします。(A・H)

……ともに いのち かがやく 世界へ……

「大遠忌法要」
「念仏奉仕団」

の団体参拝の計画は
お気軽にご相談下さい。

……旅のことならどんな事でも……

knt! 近畿日本ツーリスト

〒690-0887 松江市殿町517番地
(国土交通大臣登録旅行業第20号)

ここに
(0852) 22-4893
よやくさんばん

